

テーマ指定演題募集（口演）のご案内

第 28 回日本救急看護学会学術集会

このたび、第 28 回日本救急看護学会学術集会（2026 年 11 月・岐阜開催）において、「テーマ指定演題」のテーマを公開いたします。こちらは、口演による「**テーマ指定演題**」募集になります。

本企画は、通常の一般演題に加えてテーマ指定演題の枠を設け、下記の趣旨に基づき広く演題を募集するものです。募集する演題は、**活動報告、事例報告**において、話題提供の型にはまらない自由な発表スタイルで行えます。

現在、救急看護領域において共通する課題や話題に対し、各施設においてそれぞれ独自の取り組みが行われています。これらの取り組みをテーマごとに集約し、テーマに関する発表がすべて終了した後、一定の時間を設けてディスカッションを行います。

本企画は、救急看護実践において先駆的に行われている重要かつ実践的な活動を共有し、ディスカッションを通して参加者相互の知見を深めるとともに、実践に即した学術的交流の場を創出することを目的としています。

なお、**演題募集の開始時期は一般演題と同様**です。本演題のオンデマンド配信はありません。

** テーマ指定演題の目的と特徴 **

看護実践現場や施設での活動報告、事例報告を歓迎します！

テーマ指定演題（口演）分類

* 演題登録は、該当する演題分類 1～7 より選択してください。なお、演題数に応じて異なるテーマ同士でまとめさせていただく場合もございますのでご了承ください。

- 1 救急外来における活動報告
- 2 救急外来における事例報告
- 3 救急領域の特定行為
- 4 救急外来における難渋（困難）事例
- 5 どうする？ 希死念慮を抱く患者への対応
- 6 救急分野の NP（診療看護師）
- 7 我が施設の転院搬送（くだり搬送）

発表形式

発表時間：各演題とも 5分です。

発表形式：発表形式はプレゼンテーションによる口頭発表のみになります。すべての演題発表終了後に、10分間のディスカッションの時間（質疑応答を含む）を設けます。なお、抄録の登録は必要とします。

* 同テーマに関心をもつ参加者との密度の高い意見交換が期待されます。

抄録構造：抄録構造については、特に制限はございません（査読の際に、査読者より体裁の修正等を入れてさせていただく場合はございます）。

参考までに、抄録構造フォーマットとして、以下の2種類を紹介します。

* **パターン1**：通常の抄録構造です。⇒ **I.目的、II.方法、III.結果、IV.考察**。なお、倫理的配慮（倫理委員会の承認、倫理配慮すべき内容の記載、等）が必要な場合は、記載ください。

* **パターン2**：「看護現象の言語化」を記載するための抄録構造です。看護実践報告や事例報告に適しています。⇒ **I.背景、II.事例紹介、III.できごとの記述、IV.できごとの振り返り、V.見出した意味**。なお、倫理的配慮（倫理委員会の承認、倫理配慮すべき内容の記載、等）が必要な場合は、記載ください。「看護現象の言語化」構造は、IMRAD形式にこだわらない看護の知を共有する構造として、兵庫県立大学看護学部の小野博史准教授が考案された構造です。この構造は『看護研究、vol55,No.1、pp.13-14、2022』で紹介されています。また、ご参考までに下記のURLをご参照ください。

特集 第1回 理論看護研究会（Phenomena in Nursing (2021) S19 – S33）

https://www.jstage.jst.go.jp/article/purs/5/1/5_S21/_pdf/-char/ja

■ 応募に向けて

本学術集会は、より多くの皆様に準備期間を確保いただけるよう、各テーマを早期に公開しております。これを機に、ご自身の臨床経験・活動成果との関連をお考えいただき、ぜひご応募くださいますようお願い申し上げます。

なお、演題登録の際は、内容に応じて「テーマ指定演題（ポスターディスカッション）」または従来の「一般演題」のいずれかをお選びいただけます。★ 「一般演題」希望の方は、こちらの「テーマ指定演題」登録を選択しないように気を付けてください。

多くの皆様からの積極的なご応募をお待ちしております。ともに救急看護実践・救急看護学のさらなる発展に資する議論を深めてまいりましょう。